

屋久島自然体験キャンプレポート

異常気象とまで報じられた今年の夏は、まさに猛暑がつづき日本中が熱中症の対策に大わらわという状況でした。

そんな中、暑さよりも天気が心配された屋久島はこんなに快晴がつづくなんて日頃、晴れ男を自負している団長も信じられないほどの好天気にもぐまれました。

おかげさまで全てのプログラムが最高の天気で滞りなく消化できました。

1日目のフェリーではこれまた信じられないほどのおだやかな海に誰一人船酔いする子もなくデッキの上ではしゃぐ子供達の笑顔はエンジェルスマイルそのものでした。

屋久島に到着、青い海を目の当たりにした子供達は早くも臨戦態勢！

毎年訪れる春田浜の海水浴場は笑顔で私たちを迎えてくれました。

海水浴場の監視員さんも「今年もやって来ましたね」と大歓迎で子供達を見守ってくれました。

2日目はもののけ姫の森を抜けて太鼓岩まで標高差600mの登山でしたがキャンプ出発前に足を負傷した子どもや初参加で登山は始めてという子もいたので太鼓岩頂上まで3時間を予定していましたが皆んながんばってなんと2時間を切って全員登頂という快挙でした。

しかも頂上は今まで私も経験したことのない素晴らしい青空とどこまでも澄み渡る緑の山々が待っていました。

夜は永田のいなか浜でうみがめ館の職員さん達の特別の配慮で孵化したウミガメの放流に立ち会うことができました。

3日目も青空の下、屋久杉ランド探索に海水浴とあきれほどの元気で屋久島を満喫しました。

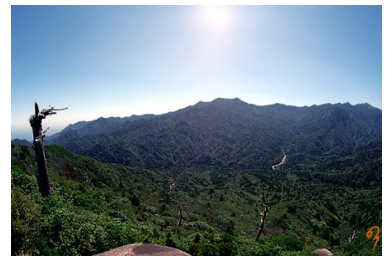
そしてこの日の夜は、団長がひそかに期待をしていた満月の白い月明かりの砂浜で子供達と過ごすプログラムでした。

浜辺で、つい先ほどまではしゃぎ回っていた子供達が創り出した静寂な時間は子供達はもちろんの事、団長やリーダー達を夢幻の世界へ導いてくれました。

なんと素晴らしい時間だったか、只々子供達に感謝です。

最終日、鹿児島から帰熊する車の中でハンバーグをパクつきながら、旅の思い出を語り合う時間はまさに至福の時間でした。

子供達に、こんな掛替えのない思い出を創らせて頂いたご家族の皆様にも心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



屋久島キャンプ団長

勝見治彦